

「探究の手法を学ぼう②～円滑なコミュニケーションとは?～」

今回は実際に自然科学に関するミニ探究を行い、探究の過程の一部を実践してみました。最後に考察やまとめをしましたが、その時に皆さんは班の人たちと適切な議論ができたでしょうか? 探究の手法を学ぼう①では、アイデアを生み出すために議論の方法を学びましたが、今回は「自分の言いたいことが相手にどうすれば伝わるのか」という視点で学んでいきましょう。

1. 相手の気持ちを考える

まずはじめに・・・

4人一組になります。下のような状況があります。A君役とB君役、それにその二人のやり取りを見守る役(2人)を決めて、A君とB君の会話をしてみてください。

学年末試験が近づいてきました。A君は歴史が苦手で、今まで授業中まじめに勉強してきませんでした。しかし、今度の試験の点数が悪いと単位を落としてしまうかもしれません。試験まで後3日しかありません。ノートを借りることができるのは、幼稚園からの友だちのB君しかいません。しかし、B君には前回の試験の時もノートを借りてすぐに返さず、怒られました。

B君もA君を友だちだと思っています。幼稚園からの友だちなので、A君の長所も短所も、普段勉強していないこともよく知っています。12月は仕方なくノートを貸しましたが、すぐに返してくれなかったもので、大変困りました。

A君とB君の会話はどうなりましたか?

A君はちゃんとノートを借りれた? それとも、貸してもらえなかった?

B君は、納得してノートを貸した? それとも、貸すのをきちんとことわられた?

A君とB君の会話を見守っていた人は、二人の会話をどう思いましたか?

それぞれの立場で感想を書いてみてください。

A君・B君・観察者(自分の役) ← 自分の役を○で囲む

【感想】

2. コミュニケーションの重要性

長所であれ、短所であれ、「輝く個性の素」は、コミュニケーション(人とのふれあい)で見いだされ、磨かれていくものです。では、そのためには何から始めればよいのでしょうか・・・

それには、まず「**自分を知ること**」です。自分を知るとは、「**自分はどんな時にどんな考え方をし、どんな行動をするのか**」を理解することです。たとえば、「失敗したときに必要以上に落ち込む」や「失敗しても気にならない」など人それぞれの特徴があります。その特徴を本人が自分なりに理解することが、自分を知ることです。これを「**自己イメージ**」と言います。この自己イメージの中に「輝く個性の素」を見つけ出し、育み、磨いていくことで、人生が一層豊かになっていくはずですよ。

では、どのようにしてこの「自己イメージ」を高めていけばよい?・・・

その答えは、・・・「**できるだけ人とふれあう機会をもって、多くの経験をすること**」です。一つでも多く成功や失敗を重ねていくことで自己イメージは柔軟になります。「自分でもこんなことができるんだ! (自己の発見)」とか「こんな考えもあったんだあ (広い視野)」という気づきで、「**どんどん自分が変わる**」(マイ・レボリューション) ことがわかってきます。いろいろな経験の中の「成功体験」が自信を運んできてくれます。

人は人とのふれあいで磨かれるんだ!



では、この**自己イメージ**を高めるためのポイントは?

① 様々な経験を重ねる

⇒ 「」「」の発見

② 様々な人とのふれあい

⇒ 「」「」を学ぶ

の2点です。

